

# 令和6(2024)年度 栃木支部 春山山行 報告

- 1 期 日：令和6(2024)年4月21日(日)
- 2 場 所：足尾・中倉山(1520m)
- 3 参加者：(会 員) 渡邊雄二、牛窪光政、仙石富英、高野正道、長百合子、菱田克彦、桑野正光、  
仲島正子、猿山浩、鬼頭秀夫、大島健一、林祐寿  
(ゲスト) 神長善次、神長純江、新本政子、鈴木清一、福田隆、林明子 合計18名
- 4 行 程(歩行距離10.3Km 累積標高差885m)  
銅親水公園(8:10)～中倉山登山口(9:06-9:26)～中倉山(11:11-12:15)～  
～孤高のブナ(12:30)～中倉山登山口(13:35-13:55)～銅親水公園(14:45)
- 5 行動概要

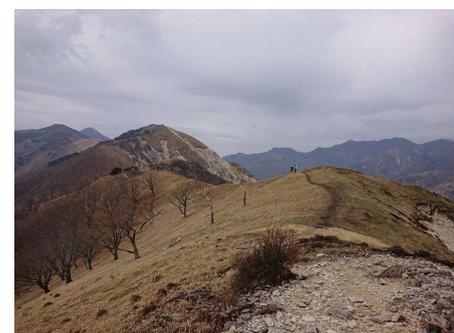
今回の計画は「孤高のブナ」で有名な中倉山。計画が実施1ヶ月前を切っただけにもかかわらず、ゲストを含め18名ものご参加をいただいた。また今回のトピック、「山頂で豚汁会！」のお楽しみ企画もあり、和気あいあいとした賑やかな山行となった。

当日はJR日光駅前に7:00集合。清滝の駐車場に移動し、ここから乗り合わせて銅親水公園へ向かった。雨予報もあり天候が心配されるが、何とか一日持ってほしい。銅親水公園駐車場で渡邊支部長のあいさつの後、各自無理せず、自分のペースで行動することを申し合わせて出発。最初は林道歩きで、会話しながら思い思いに歩く。しかし、楽なはずの林道歩きがひたすら長く感じるのは何故だろう。中倉山登山口で休憩ののち、いよいよ登山道に入る。地形図を見ると、山頂稜線まで等高線が密集しており、かなりの急勾配であることが分かる。勾配に加え、素の斜面のまま、ステップ状でないためとても歩きにくい。30分ほどで小休止を取る。近くにスイセンが群生して咲いており、一同の興味を引いた。再出発し程なくして尾根に上がる。億族を待ちつつ小休止。山頂稜線の少し下で「孤高のブナ」へのトラバース道分岐に出る。ここから豚汁班が先行。山頂稜線に出ると一気に展望が開け、気持ちの良い稜線歩きとなる。松木溪谷側の景観がすばらしい。程なく山頂に到着する。すぐに豚汁の調理を始め、ちょうど出来上がったころ後続組が到着。間もなく全員が到着し、お楽しみ豚汁に舌づつみを打つ。雨予報の曇天だが、ガスも風もなく、ちょうど良い気温でとても心地よい豚汁会となった。1時間ほどのんびりと山頂で過ごしたのち下山開始。孤高のブナに立ち寄り記念撮影をする。孤高のブナは文字通り1本だけ稜線上にあり、その佇まいは尊厳的ですからある。下山は休憩をはさみながらも1時間ほどで林道の登山口に到着。急傾斜の下山はとて辛く足に来るが、ここまで来れば後はのんびり林道を下るだけ。銅親水公園に14:45に帰着。後続組もさほど遅れることなく、15:00に全員無事下山した。

今回の山行は18名の大所帯なので行動面の心配も若干あったが、無理することなく各自それぞれのペースを守っていただいたお陰で結果的に大きな差もなく、当然トラブルもなく無事山行を終えることができた。ご参加の皆様、大変ありがとうございました。(記録：林)



出発時の全員集合！



中倉山山頂付近から快適な稜線



「孤高のブナ」にて